

年頭にあたって

岩見沢市長 松野 哲

市役所改革からふるさとの発展を

新年あけましておめでとございます。希望に満ちた輝かしい平成25年の新春を迎え、市民の皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

私は昨年9月、皆さまからご信任をいただき、市政を担うこととなりました。市長就任の際、「市役所を改革する」というお話をさせていただきましたが、その原点は、行政が市民の声をしっかりと受け止め、課題の解決に向けて取り組み、市役所が市民の皆さまのために汗を流すという信念です。

そのために、私自身が率先して、市民の皆さまの声をお聴きし、当面の課題であるごみの減量化や学校給食、雪対策などに取り組んでいます。市民の皆さまの信頼にこたえる取り組みを積み重ねて、市役所は頑張っているという声が聞けるよう努めてまいります。

また、岩見沢市、北村、栗沢町が合併してから、今年で8年目を迎えます。合併の成果をより確かなものに、そして各地域がともに希望が持てる未来を築き、合併して本当に良かったと実感できるまちづくりに取り組んでまいります。

かつて、わが国の近代化を支えた産炭地域であり、そして全道に誇れる農作物の生産地である空知の中心都市、岩見沢市という大きな可能性を持ったふるさとの発展に向け、市民の皆さまとともに協働して着実に前進してまいりたいと思います。

昨年を振り返って

昨年は、10メートルを超える42年振りの豪雪により、多くの家屋が倒壊や破損などの被害を受け、また、9月には31年振りの大雨に見舞われ、多くの皆さまが被害にあわれる事態となり、市としても危機管理・防災体制強化の重要性を強く再認識しています。

災害の予測は困難とも言われていますが、昨今の状況を見ますと、これまでの経験や想像をはるかに超える事態に備えなければならないものと痛感しています。

市としても、災害時における情報収集・情報提供の体制を整備し、避難所や物資の確保など、市民の皆さまが安全で安心して暮らせるよう、豪雪や大雨などの自然災害に加えて、大規模停電などの災害が発生した場合にも備えて、関係機関や近隣市町村とも連携しながら、災害に強いまちづくりの推進に向けて取り組んでまいります。

重点課題への取り組み

今年、ごみの新処分場建設などの大型事業も控えています。高齢化と少子化の進行などにもない、10年先、20年先を見越して次の重点課題に取り組んでまいります。

一点目は、何よりも市民の皆さまの安全と安心の確保であり、さらに市民生活の質をどう向上させるのかということです。

二点目は、子ども・子育ての支援であり、未来をつくる社会の希望である子どもたちのために、安心して子育てができる環境、質の高い教育が受けられる環境をつくり、子どもの笑顔があふれる社会を実現していくことです。

三点目は、地域経済の活性化であり、基幹産業である農業の発展、また中心市街地の活性化などにより、雇用を拡大し、岩見沢の活力を高めていくことです。

四点目は、人口の減少と少子高齢化が急速に進んでいるなかで、積極的な市民参加を通して地域の皆さまや団体の方々の主体的な取り組みを支援し、市民の皆さまとともに築いていくまちづくりです。

こうした取り組みを通して、将来にわたり安定した行財政運営を維持しながら、安全・安心で、質の高い行政サービスを受用することができ、市民の満足度が高まるよう全力で取り組んでまいります。

今年で市制施行70周年を迎えます。本市として、歴史を振り返り、未来へ向けた思いを新たにできる節目の年にしたいと考えています。市民の皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新春のあいさつといたします。

平成25年元旦



市民とともに築くまちづくり